

総合図書館 清教リブラリア

2015 年度 事業報告

- ・ 第 9 回高橋松之助記念「朝の読書大賞」を受賞
- ・ 生徒作品のデジタルアーカイブ化が実現
- ・ 第 17 回図書館総合展にブース出展
- ・ 国会図書館「レファレンス協同データベース」に参加
- ・ 第 19 回「図書館を使った調べる学習コンクール」受賞
- ・ ツイッターによる情報発信を開始

清教学園中・高等学校 図書館教育

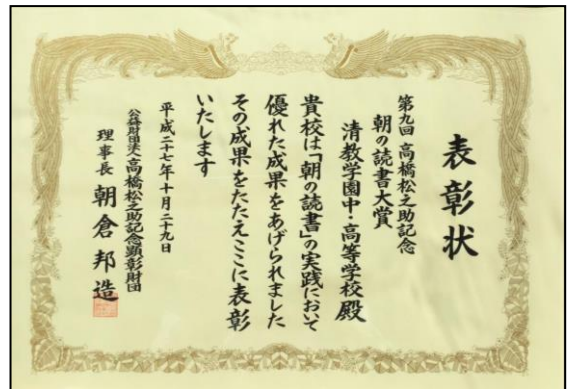
2016 年 4 月 27 日

I トピックス

第9回高橋松之助記念「朝の読書大賞」を受賞

公益財団法人高橋松之助記念顕彰財団が主催する第9回高橋松之助記念「朝の読書大賞」を受賞しました。この賞は「文字・活字文化推進法」の理念に基づき、読書推進に貢献した学校等に贈られるものです。

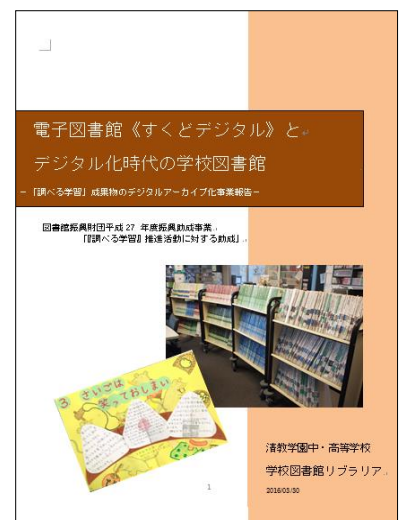
学校図書館「すくど文庫」や総合学習の「おためし読書」、さらには学級文庫「すくどの本」等の実践が評価されました。贈呈式は10月29日に東京・千代田区のクラブ関東にて催され、表彰状と副賞の30万円が授与されました。



生徒作品のデジタルアーカイブ化が実現

公益財団法人図書館振興財団が公募する、平成27年度振興助成事業「『調べる学習』推進活動に対する助成」に応募し、「学校図書館における『調べる学習』成果物のデジタルアーカイブ化事業」が認められました。助成額は111万円でした。事業期間は2015年4月～2016年3月です。

本事業ではこれまで蓄積してきた中学生の作品(卒業研究・ブックレット他)、高校生の卒業論文タラントン・パスファインダー等2,539作品(画像数32145件)がデジタル化されました。『電子図書館《すくどデジタル》とデジタル化時代の学校図書館:「調べる学習」成果物のデジタルアーカイブ化事業報告』に詳しく報告されています。



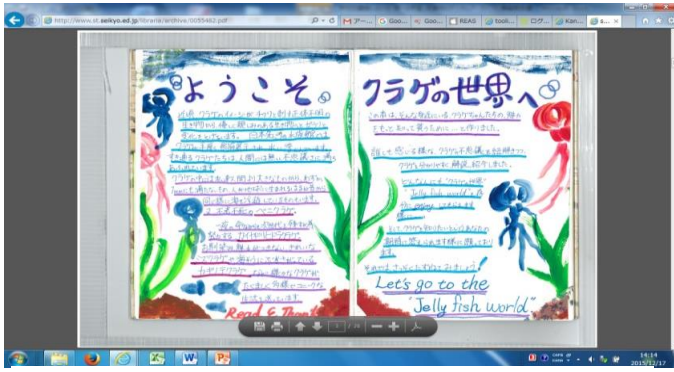
完成した報告書の表紙

また、稼働を開始した電子図書館《すくどデジタル》は、「リブラリア 生徒作品アーカイブ検索」(<http://www.st.seikyo.ed.jp/libraria/finder.html>)として校内のネットワークにおいてのみ現在利用が可能になっています。ちなみにこのシステム構築のために、清教学園 ICT 担当の協力を得て、生徒達自身による自由な検索・閲覧が可能な環境を実現する Web Scraping アプリケーション「LibScraper」が作成されました。

検索フォーム

該当件数 2 件 (上位20件を表示)	
1.	新選組 「嵐」の一文字に命をかけた武士たち 卒業研究2011 芝尾/悠希 著 清教学園中学校 2011 ページ: 60p サイズ: 28cm 請求記号: A-210.58-シハ
	登録番号 0033296 請求記号 A-210.58-シハ 所蔵館 本館 配架場所 開架 所蔵数 1 貸出可能数 1 貸出累計 8
2.	新選組英雄伝 武本ブックス2011 角谷/佳織 著 清教学園中学校 2011.9 ページ: 27p サイズ: 28cm 請求記号: A-210.5-スズ
	登録番号 0033813 請求記号 A-210.5-スズ 所蔵館 本館 配架場所 開架 所蔵数 1 貸出可能数 1 貸出累計 3
該当件数 2 件 (上位20件を表示)	

LibScraper の回答



コンピュータの画面に表示された中学卒業研究のひとつ。1画面に2ページが表示される。



左画面の一部を拡大したところ。文字が鮮明に読み取れるのがわかる。

第17回図書館総合展でブース出展

11月10・11・12日の三日間、神奈川県のパシフィコ横浜を会場として「第17回図書館総合展」が開催され、清教学園リブラリアが学校図書館として初のブース展示を行いました。

当日は、図書館活用の様子を伝える記録動画「リブラリアの一日」が上映され、リブラリアのリーフレット407枚が配布されました。また『情報大航海術の実り』として、卒業生のさんと片岡が探究学習についてのフォーラムに参加しました（参加者97名）。



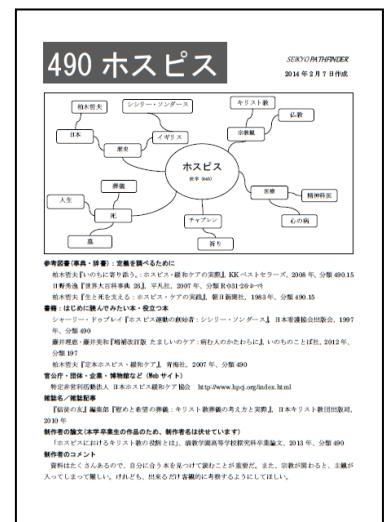
図書館総合展の清教学園リブラリアのブース

国会図書館「レファレンス協同データベース」に参加

「レファレンス協同データベース」 (<http://crd.ndl.go.jp/reference/>) は、国立国会図書館が全国の図書館等と協同でつくる、調べ物（レファレンス）のためのデータベースです。このデータベースには全国の公共図書館、大学図書館、学校図書館などから寄せられた調べものの事例が蓄積されていますが、2015年度より清教学園リブラリアも参加しています。現在6通の生徒自身の手によるパスファインダーが「調べ方マニュアル」として公開されています。



サイトのトップページと表示例



公開されているパスファインダー

第19回「図書館を使った調べる学習コンクール」受賞

「第19回 図書館を使った調べる学習コンクール」（主催：公益財団法人図書館振興財団）の受賞者が発表され、46期卒業生（高校3年A組）さんの作品、『在宅緩和ケアが導く“理想の死”とは：変わる終末期医療のあり方』が活字文化推進会議賞を、また同組のさんの作品『活版印刷はなぜ愛され続けるのか：日本の美しき活字と現代』が読売新聞社賞を受賞しました。このコンクールへの入賞は清教学園として8年連続14人目です。表彰式は、2月27日（土）に東京都台東区の上野精養軒にて開催されました。ちなみに応募作品は過去最高の70,057点でした。うち入賞作は31作品です。また最高賞である「文部科学大臣賞」が、今回は「該当なし」のため、さんの作品が高校の部で最も優れた（さんは第二位の）評価を頂きました。



読売新聞の取材を受ける
さん・さん

受賞したさん・さんを報じる
読売新聞記事【大阪版】

2016年(平成28年)2月12日(金曜日) 読売新聞 東京

図書館の資料を活用して論文を発表する「第19回図書館を使った調べる学習コンクール」(公益財団法人図書館振興財団主催、読売新聞社(以下後援)の調べ学習専門「高校生」の部)で、清教学園高校(河内長野市)の3年、高井さん(18)が「優秀賞・活字文化推進会議賞」を、同3年、杉田希さん(18)が「読売新聞社賞」を受賞した。表彰式は27日に東京都内で行われる。

高井、杉田さん(清教学園高3年)優秀賞

高井さんの論文は「在宅緩和ケアが導く理想の死」と題し、変わる終末期医療のあり方(50)を、親族末期医療の見過ごしから読売新聞社賞を受賞した。杉田さんの論文は「活版印刷はなぜ愛され続けるのか日本の美しき活字と現代人」(47)を、父と訪れたイベントで見つけた活版印刷の文化を、次世代に継承するための行動を起すことが重要と結論づけた。杉田さんは、印刷や出版関係の仕事に就くのが夢で、大学でも伝統文化を学んだ新しいビジネスを考えていきたいと話していた。

高井さんの論文は「在宅緩和ケアが導く理想の死」と題し、変わる終末期医療のあり方(50)を、親族末期医療の見過ごしから読売新聞社賞を受賞した。杉田さんの論文は「活版印刷はなぜ愛され続けるのか日本の美しき活字と現代人」(47)を、父と訪れたイベントで見つけた活版印刷の文化を、次世代に継承するための行動を起すことが重要と結論づけた。杉田さんは、印刷や出版関係の仕事に就くのが夢で、大学でも伝統文化を学んだ新しいビジネスを考えていきたいと話していた。

高井さん 終末期医療 多角的に
文庫を調べるとともに、在宅緩和ケアに取り組み医師に取材を行い、在宅緩和ケアの専門医が足りないという問題を指摘。また、終末期をどう過ごすか医療計画を立てることが重要であるが説明した。高井さんは「また、将来については決めていないが、病院経営という違った角度から、終末期医療について考えたい」と将来を見据えていた。

杉田さん 残そう 活版印刷文化
「鯉紙本」について論評。平仮名を用いた活字は日本にしかない文化で、もともと自国の文字に興味を持ってほしいと説いている。東京の印刷博物館に向いて活版印刷を体験するなど幅広く取材。活版印刷文化を残し、次世代に継承するための行動を起すことが重要と結論づけた。杉田さんは、印刷や出版関係の仕事に就くのが夢で、大学でも伝統文化を学んだ新しいビジネスを考えていきたいと話していた。

ツイッターによる情報発信を開始

2015年6月よりSNS Twitterの発信を開始しました。2016年3月現在、ツイート数(発信回数)は153件です。一日当たりのツイート数は0.6回であり、二日に1回程度の発信です。フォロワー(リブラリアのツイートを常時チェックする人)は生徒のみならず、教員・図書館関係者・研究者など192名です。@seikyolibrariaで検索ができます。



リブラリアのプロフィール画面



折々の話題に画像を添えて提供

高校生が描いたリブラリアのマスコットキャラクター「たまにゃん」。たまにゃんの「たま」は、賜物(たまもの)のたま。



II 施設概要

名称: 総合図書館 清教学園リブラリア

所在地: 〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

Tel : 0721-62-6828 (内線 28, 29) HP : <http://www.seikyo.ed.jp/>

ツイッター : <https://twitter.com/seikyolibraria>

理事長: 井上隆 理事: 中尾恒夫 安達英行 中高・校長: 森創

チャプレン: 井上良作 中高・副校長: 森野章二 中学・教頭: 菊岡秀行

高校・教頭: 安藤浩明

図書館教育: 片岡則夫 (館長) 山根美智子 (司書) 南百合絵 (司書教諭)

岡崎真実 (非常勤司書) 山崎勇氣 (総合)

※山崎は総合学習のサポートとして授業も担当

生徒数: 中学校 583名 (1年172名 2年202名 3年209名)

高等学校 1252名 (1年425名 2年412名 3年415名)

総生徒数 1835名 (昨年度1934名)

職員数 166名

合計 2001名 (昨年度2102名)

学級数: 中学校14学級 高等学校32学級 合計46学級

設置: 2002年4月 (「総合図書館清教リブラリア」として現在の形で開館)

図書館:

床面積: 約256㎡ カウンター 司書室を含む

座席数: 20席 書庫 (スタディーホール・ホール上)

業務端末: 6台 生徒検索端末: 2台 無線LAN

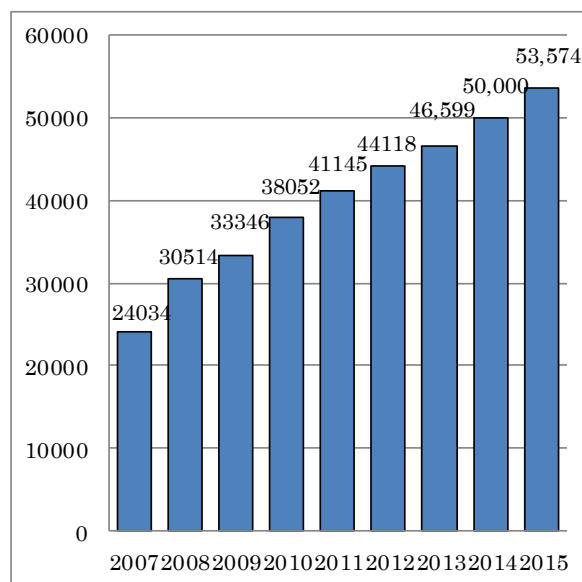
総合学習室:

床面積: 約98.2㎡

座席数: 48席 生徒用PC: 48台 教師用PC: 1台 無線LAN

III 資料

本年度リブラリアの総蔵書数は53574冊となりました。2014年度末より約3600冊の増加です。一方で、書架の容量が限界に近づいたため、年度末に書架を階段下・窓際に4つ増設しました。同時に、大規模な本の移動と除籍(約1000冊)を行い、なんとか本が収まった状態です。



リブラリアの総蔵書数の推移

購入雑誌タイトル (16誌)

Number	学校図書館	News がわかる	MOE
Newton	季刊かつくら	週刊東洋経済	鉄道ジャーナル
関西ウォーカー	スクリーン	DAYS JAPAN	ナショナル・ジオグラフィック 日本版
ダ・ヴィンチ	オレンジページ	進学通信	進学通信 (関西版)

購入新聞（3誌）

朝日新聞	Asahi Weekly（毎週金曜日）
Japan Times	朝日中高生新聞（毎週日曜日：寄贈）

2015年度蔵書統計

1. 購入図書冊数

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	78	108	451	546	414	292	277	444	68	872	131	3681
%	2.1	2.9	12.3	14.8	11.2	7.9	7.5	12.1	1.8	23.7	3.6	100

2. 購入視聴覚数 0点

3. 寄贈図書

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
一般寄贈	4	18	58	44	44	26	11	16	9	74	46	350
PTA 図書	1	6	4	10	15	4	3	21	1	119	0	184
合計	5	24	62	54	59	30	14	37	10	193	46	534

※ まんが・絵本他には視聴覚資料 11 点を含む

4. すくどの本: 教室設置用図書購入分(2014年度より設置)

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	3	3	5	12	22	5	7	14	1	147	0	219

※ 英語の本 28 冊も主題の分類を含む

5. 遡及作業

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	0	4	1	0	2	1	0	0	0	0	0	8

6. 生徒作品受入分

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	5	3	4	24	20	22	20	25	0	15	0	138

※探究科卒業論文…41冊 中3卒業研究（総合学習作品）…80冊
中2ブックレットは次年度登録予定

7. 総受入冊数

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	88	139	518	624	495	345	311	506	78	1080	177	4361

8. 紛失図書

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
紛失冊数	523※	137	79	148	207	144	164	112
紛失率(%)		0.41	0.21	0.36	0.47	0.30	0.30	0.21

年間紛失率＝年間紛失冊数÷蔵書冊数×100 被害総額約 11 万円

※これまでの紛失図書の累計値

9. 教室設置図書(すくどの本)紛失冊数

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	1	1	2	3	5	0	1	7	0	40	0	60

10. 配置別の蔵書数と割合

	1F 書架 (すくど文庫含む)	2F 書庫	3F 書庫	すくどの本 (教室出張中)	その他 (視聴覚図書等)	全蔵書
冊数	41530	5188	3776	284	2796	53574
%	77.5	9.7	7.0	0.5	5.2	100

11. 廃棄数冊数 2278 冊 1012 冊 (今年度廃棄分) +1266 冊 (これまでの不明本を廃棄扱いとした)

12. 総蔵書数・蔵書構成

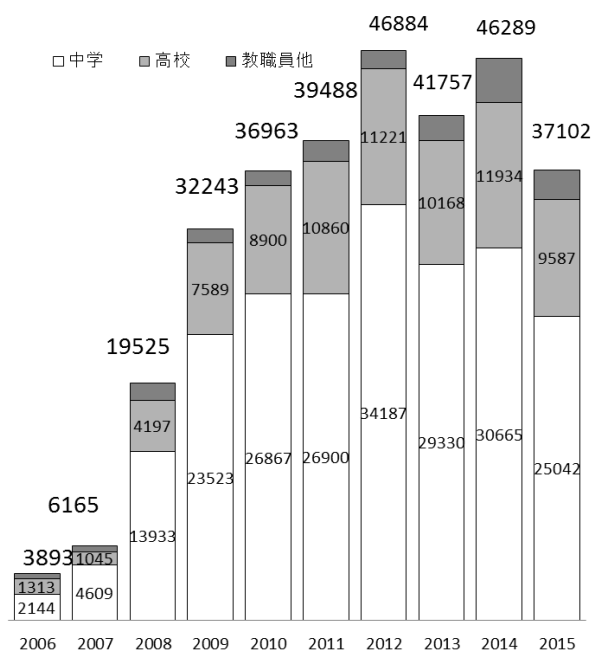
分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
生徒作品	36	32	78	199	254	238	238	246	47	32	0	1400
寄贈	226	297	424	691	779	372	339	531	253	2796	458	7166
蔵書合計	1604	2929	4673	6394	6752	3667	3292	5878	1441	15262	1682	53574
%	3.0	5.5	8.7	11.9	12.6	6.8	6.1	11.0	2.7	28.5	3.1	100

※不明本 1266 冊を除く

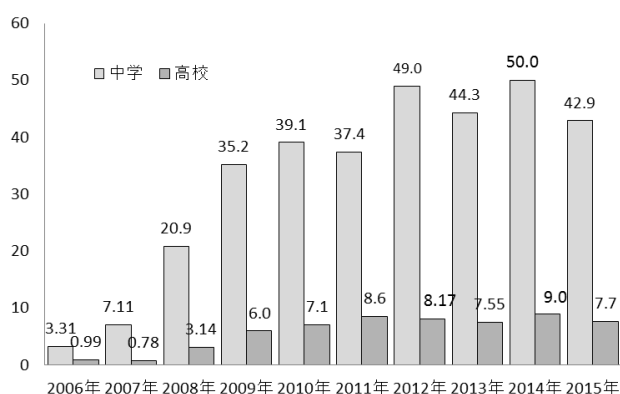
IV 利用

2015年度の総貸出数は37102冊で、昨年に比べて約9200冊減少しました。一方、ひとりあたりの年間貸出数は中学で42.2冊（約7冊減）、高校で7.7冊（約2冊減）であることから、今回の貸出減の原因が生徒減（昨年度より99名減）によるとは考えられません（下グラフ・VI課題を参照下さい）。

総貸出冊数は9000冊減



一人あたりの年間貸出冊も頭打ち



生徒一人あたりの年間貸出冊数の推移 2006～2015

開館時間 月曜日～金曜日 8:10～18:00 土曜日 8:10～16:30 ※長期休暇中は別に定める

開館日数 278日（前年度276日）

授業利用時間数 年間約450時間

中学総合学習週15時間・高校探究週4時間、聖書科・数学・美術等随時

貸出方法・期間

貸出冊数：20冊まで／貸出期間：14日以内 ※長期休暇中は別に定める

年間総貸出冊数 37102冊

利用者1人あたりの貸出冊数【貸出密度】（ ）は前年度

全生徒 18.5冊／年（22.0冊／年）

中学生 42.9冊／年（50.0冊／年）

高校生 7.7冊／年（9.03冊／年）

職員 13.4冊／年（20.46冊／年）

開館日1日あたりの貸出冊数:133.5冊（前年度167.7冊）

蔵書1冊あたりの平均貸出冊数【蔵書回転率】：0.69冊（前年度0.90冊）

（蔵書回転率＝年間貸出冊数÷全蔵書冊数）

新しい本が図書館にどの程度入ったか【蔵書新鮮度】：8.1%（昨年度10.4%）

（蔵書新鮮度＝その年の蔵書受け入れ冊数÷全蔵書冊数×100）

※この数字が高ければ高いほど頻繁に蔵書を回転させており、書架に新しい本が多い。

リクエスト件数 1253 件 (昨年度 1067 件)

複写申請数 336 件 (昨年度 295 件)

他館借受本 869 冊 (昨年度約 1692 冊) 河内長野図書館他

予約・リクエスト率(予約数・リクエスト÷貸出冊数×100):3.38% (昨年度 3.65 %)

図書館登校生徒：年間利用日数:約 240 日

中学生 5 名：教室に入りにくい等の理由による。

高校生 1 名：終礼前の時間調節

留学生 6 名：空き時間をリブラリアで課題・PC 利用等で過ごす。

年間貸出統計 2015 年度

2015	中 1	中 2	中 3	中学生 貸出合計	高 1	高 2	高 3	高校生 合計	職員	保 護 者	教科 他	総貸 出数	開館 日数	1日平均	予約/ リクエ スト
4月	945	475	409	1829	538	110	541	1189	352	0	0	3370	24	140.4	116
5月	2353	642	1094	4089	172	143	633	948	217	0	0	5254	23	228.4	166
6月	794	619	1599	3012	262	154	749	1165	177	1	200	4555	26	175.2	249
7月	911	524	865	2300	190	202	758	1150	136	4	0	3590	25	143.6	122
8月	315	282	295	892	102	90	267	459	99	0	0	1450	24	60.4	29
9月	891	1183	1022	3096	176	115	503	794	138	0	0	4028	23	175.1	95
10月	418	1306	1125	2849	361	132	411	904	230	0	17	4000	24	166.7	156
11月	323	960	444	1727	301	290	332	923	155	0	8	2813	23	122.3	87
12月	448	683	245	1376	195	234	156	585	303	8	0	2272	23	98.8	75
1月	577	887	286	1750	168	97	85	350	104	0	0	2204	19	116	46
2月	296	645	160	1101	130	226	184	540	47	10	0	1698	19	89.4	63
3月	326	608	87	1021	151	222	207	580	267	0	0	1868	25	74.7	49
集計	8597	8814	7631	25042	2746	2015	4826	9587	2225	23	225	37102	278	133.5	1253

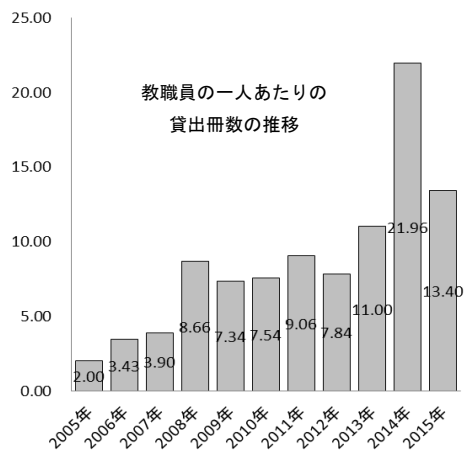
分類別貸出冊数の統計

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	視聴覚	絵本	マンガ	その他	合計
貸出冊数	743	1010	1665	3092	3865	3669	2750	4825	949	12539	165	73	1144	613	37102
蔵書回転率	0.46	0.34	0.36	0.48	0.57	1.00	0.84	0.82	0.66	0.82					0.69

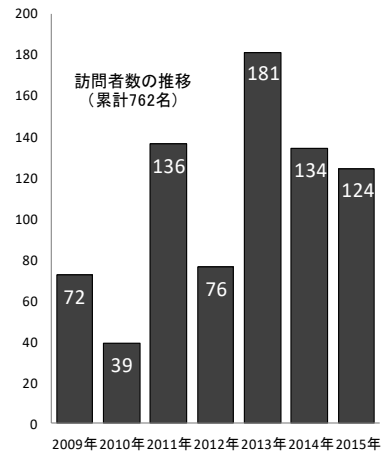
「蔵書回転率」は蔵書 1 冊あたりの平均貸出冊数 (蔵書回転率=年間貸出冊数÷全蔵書冊数)

※ その他は他館からの借受本など。

教職員の利用は減少



訪問者数は減少するも 100 超



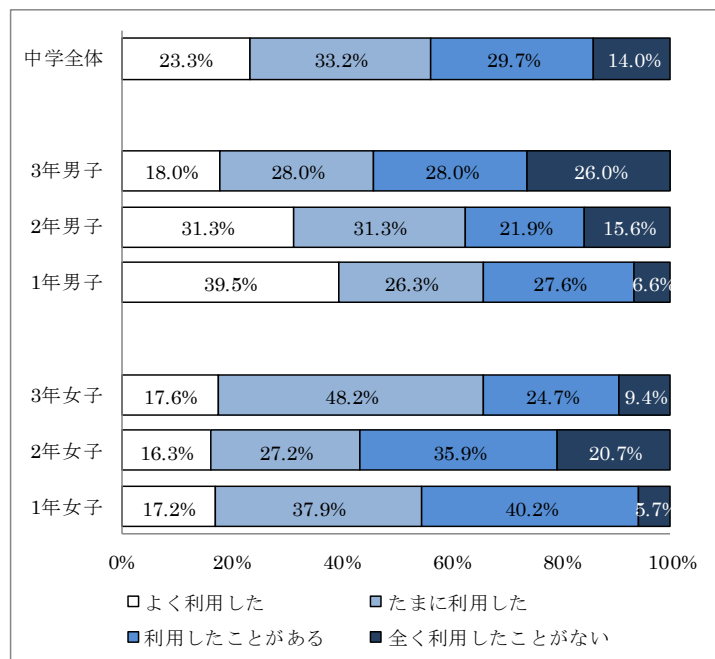
「すくど文庫」(中学新入生向け書架)の蔵書と貸出統計

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	絵本	合計
蔵書冊数	38	67	54	134	233	66	66	192	21	1414	61	2346
貸出冊数	29	45	16	59	103	37	64	88	21	2134	1	2597
回転率	0.76	0.67	0.30	0.44	0.44	0.56	0.97	0.46	1.00	1.51	0.02	1.11

「すくどの本」(学級文庫)の利用統計

提供規模:各教室 17 (年度当初は 15) 冊・合計 219 冊

読書冊数:のべ 2639 冊・年 4.5 冊/人 (昨年度のべ 2923 冊・年 4.8 冊/人) …学年末アンケート調査による



「すくどの本」の男子の利用頻度は学年が上がるにつれて下がってゆきます。

定期テストごとに巡回する「すくどの本」。

V 2015 年度の記録

「図書館だより」と特集展示(主に窓際のテーブルで)

[2015 年]

- 5 月「図書館だより」(担当片岡) 66 期中 1「おすすめ本の紹介 POP 展示」
- 6 月「図書館だより」(担当片岡) 66 期中 1「おすすめ本の紹介 POP 展示」
SGH 関連資料(アフリカ・タンザニア) 展示。留学生による壁面切り絵
- 7 月「図書館だより」(担当山崎) 終戦 70 周年展示
- 9 月「図書館だより」(担当南) 月に関連する資料展示
- 10 月「図書館だより」(担当山根) 秋におすすめの本を展示
- 11 月「図書館だより」(担当山崎) 67 期中 1 調べる学習の作品を展示
- 12 月「図書館だより」(担当岡崎) 年末年始に関する資料を展示
クリスマスツリーの設置に併せて、クリスマスに関する資料を展示

[2016 年]

- 1 月「図書館だより」(担当山根) 冬におすすめの本を展示
- 1 月 蔵書点検に伴い除籍本の検討と譲渡を開始
- 2 月「図書館だより」(担当岡崎) 真田幸村に関連する資料を展示
- 3 月「図書館だより」(担当南) 「『獣の奏者』からはじまる…」
65 期中 3 卒業研究を展示

年度を通じた活動(通常業務以外)

- ・未登録の本・雑誌・CD・DVDの登録作業(遡及作業)を継続。
- ・登録バーコード位置統一作業(貸出・返却作業、蔵書点検作業の効率化をはかるため)。
- ・図書委員会の活動:「書架整理係」を中心に実施。
- ・留学生の自習スペースとしての利用(コンピュータの貸出等)。
- ・カウンセリングルームと連携し生徒の居場所提供(カウンセリング協議会への参加)。
- ・「新着図書のお知らせ」の配布:教職員、各クラス、河内長野市立図書館にも配布・掲示。学園内サーバに新着案内の Web ページを設置。教員用端末から閲覧可能。更新時に SG メールでお知らせ。



学園内サーバに新着案内の Web ページを設置。教員用端末から閲覧可能になりました。

- ・教育相談室からカウンセラーの前山先生が週2回お昼休みに図書館に在中し生徒観察を実施
- ・階段横壁面を利用して、原作本のある映画や美術館の案内などを随時展示
- ・寄贈本の受入：職員・生徒・関係者からの寄贈本が増加。登録作業継続。
- ・書架の移動と分類サインのリニューアル
- ・生徒作品のデジタルアーカイブ化を完了。Webブラウザで過去の生徒の作品が検索・閲覧可能に
- ・Twitterアカウントの運用を開始。学内・学外向けにアピールを行う（I トピック参照）
- ・国立国会図書館「レファレンス協同データベース」に参加。過去の探究科生徒が制作した、卒業論文のパスファインダーと、卒業論文要旨をアップロード（I トピック参照）

行事

- 4月 高校1年生全クラスに対して利用案内を実施（教科聖書の1時間を利用）
- 5月 第1回リブラリアクイズ
- 7月 第2回リブラリアクイズ(参加23名)
- 9月 文化祭 教室の電子黒板で動画「リブラリアの一日」と、生徒作品を展示
- 10月 第3回リブラリアクイズ(参加21名)
- 12月 宗教部・リブラリア共催クリスマス会
（川俣先生による説教、教職員によるコンサート、プラバン・リース工作）
- 1月 第4回リブラリアクイズ(参加15名)

訪問者(敬称略)計124名

日付	人数	どこから	氏名	訪問目的
4月9日	5	ケンブリッジ大学関係者 (学生4名 通訳1名)		図書館見学
4月14日	1	TRC(図書館流通センター)		電子アーカイブ事業打合せ
4月17日	1	筑波大学大学院		図書館教育課程上に位置づけに関する調査依頼
4月27日	3	大阪女学院 (副理事1名、他2名)		図書館見学
4月30日	1	農文協		訪問販売
5月14日	1	TRC(図書館流通センター)		電子アーカイブ事業打合せ
5月18日	5	徳島県立富岡西高等学校		学校訪問 図書館見学
5月20日	1	筑波大学 大学院 図書館情報メディア研究科		学校訪問 図書館見学
5月20日	2	日本国際飢餓対策機構		学校訪問 図書館見学
5月22日	4	バンクーバーの学生(1名) カナダの学生(1名) ホストファミリー(2名)		学校訪問 図書館見学
6月4日	3	ダイヤモンドQ編集部		雑誌記事取材 写真撮影
6月9日	3	School of Science and Technology, Singapore		学校訪問 図書館見学

6月18日	1	(株)学び舎		学校訪問 図書館見学
6月18日	1	NPO法人新共創産業 技術支援機構		学校訪問 図書館見学
6月20日	1	京都橘中高等学校		小五体験授業見学
6月24日	2	ライフイズテック株式会社		学校訪問 図書館見学
7月9日	1	さかい利晶の杜		学校訪問 図書館見学
7月27日	3	愛知県豊田市学校図書館司書		図書館見学 学校図書館利用方法の視察
7月31日	1	ニベア花王株式会社		図書館見学
8月27日	1	泉南市小中学校司書		図書館見学 学校図書館利用方法の視察
8月27日	1	朝日学生新聞社編集長		図書館見学 取材
8月28日	1	高橋松之助記念顕彰財団		朝の読書大賞審査視察
9月1日	14	大阪市立中学校教育研究会 8ブロック研究会		図書館見学 講義(片岡)
9月8日	1	京都インターナショナル ユニバーシティー		学校訪問 図書館見学
10月1日	1	TRC(図書館流通センター)ラ イブラリーアカデミー事務局		学校訪問 図書館見学
10月3日	1	堺市立登美丘中学校司書教諭		学校訪問 図書館見学
10月9日	2	東京都江戸川区教育委員会 東京都江戸川区立下小岩小学 校主幹教諭		図書館見学 学校図書館利用方法の視察
10月26日	2	(株)トーハン大阪支店		朝の読書大賞 打ち合わせ
10月28日	1	立命館大学文学部		図書館見学 卒業論文のため
12月4日	2	TRC(図書館流通センター)		学校訪問 図書館見学
12月8日	3	橋本市三石小学校図書ボラン ティア		学校訪問 図書館見学
12月11日	1	大阪読売サービス株式会社		学校訪問 図書館見学
1月22日	1	大阪府立金岡高等学校校長		探究科授業見学 図書館見学
1月25日	13	台湾雲林県立麥寮高級中学		交流訪問
1月26日	15	韓国釜山巨提女子中学校		交流訪問
2月3日	3	河内長野市立東中学校 河内長野市立西中学校 河内長野市立美加の台中学校		中3理科授業公開 図書館見学
2月9日	1	読売新聞大阪本社社会部		コンクール受賞者2名の取材
2月16日	1	日本国際飢餓対策機構		学校訪問 図書館見学
3月10日	19	ベトナムホーチミン国際交流		交流訪問

研修等への参加

- ・2015年10月13日 京都国際マンガミュージアム／京都精華大学まんが学部・情報館見学(5名)
- ・2015年11月10・11・12日 「第17回図書館総合展」(神奈川県パシフィコ横浜) ブース出展・見学・講演(4名)
- ・2016年2月21日 小澤俊夫講演会「昔話と子ども」(兵庫県芦屋市) ラポルテホール (2名)



『としょかん通信』でリブラリアがポスターに
(リブラリア前に掲示中)

雑誌・新聞記事・寄稿等 ([] 内は執筆者)

- ・2015年4月～2016年3月「清教学園リブラリア『生徒の使いたい本はこれ！調べ学習に役立つブックガイド：清教学園リブラリアの本棚から』「セドック」(少年写真新聞社 Web サイト), [第79～98回, 計19回の連載] [南・岡崎・山崎]
http://sedoc.ne.jp/sample/2011book_use/index.html
- ・「『中学生のための調べる図書館づくり』について」(図書館のためのブックフェア2015 レポート) 『図書館の学校』2015年秋号



『ダイヤモンドセレクト』誌で紹介される

- ・『ダイヤモンドセレクト』(表紙写真・清教学園記事内に紹介される) 2015年8月号
- ・「朝の読書大賞贈呈式」『書店経営』(電子版を含む) 2016年12月号
- ・「朝読が授業のベースに／第9回『朝の読書大賞』」『教育家庭新聞』2015年11月16日
- ・『「学校図書館の挑戦と可能性」困った時には図書館へ2』悠光堂 2015年11月20日 [片岡]
- ・「朝の読書大賞贈呈式／受賞者業績」『トーハン週報』2015年11/23号
- ・「朝の読書大賞受賞者決定(受賞者の言葉)」『トーハン週報』2015年12/7号 [森創]
- ・「図書館は探究の場・知の拠点の活用を」『教育家庭新聞』2015年12月7日
- ・「朝の読書の現場から」『書店経営』(電子版を含む) 2016年2月号 [森創]

第9回「朝の読書大賞」
教員の意識の徹底など
4つのポイントを評価

読書推進文字・語学文化振興に貢献し、業績をあげ、学校が地方自治体・団体・個人・企業等に多大な貢献を遂げた。朝の読書大賞(2015年度)は、読書推進文字・語学文化振興に貢献し、業績をあげ、学校が地方自治体・団体・個人・企業等に多大な貢献を遂げた。朝の読書大賞(2015年度)は、読書推進文字・語学文化振興に貢献し、業績をあげ、学校が地方自治体・団体・個人・企業等に多大な貢献を遂げた。

生活習慣としての取組 福米東小
朝読が授業のベースに 清教学園中・高
友達同士で本を紹介 高松東高

贈呈式には全国から受賞者・団体が参加した。「朝の読書大賞」と「文字・活字文化推進大賞」は来年10回目を迎えることになり、より一層の読書推進が期待される。

『教育家庭新聞』記事

外部講師等(開催日・主催者・「講座テーマ」・会場)

- ・2015年7月22日 福岡県宗像市教育委員会「本との出会い・探究的な学び:学校図書館を活かす」宗像市役所
- ・2015年7月30日 図書館のためのブックフェア2015「中学生のための調べる図書館づくり:中学生1300人の探究学習から」TRC 大阪支社

- ・2015年8月3日・24日 大阪府熊取町立熊取図書館「第3回 調べる学習応援講座」熊取町立熊取図書館
- ・2015年8月11日 長野県茅野市教育委員会「小中高校生の探究的な学びと読書支援」茅野市長峰中学校
- ・2015年8月20日 宮崎県立図書館「読書・探究学習を支援する学校図書館」宮崎県立図書館
- ・2015年11月6日 西日本私立小学校連盟研修会「調べる学習ワークショップ：『思いやりの本』を『おためし読書』で選ぶ」追手門学院小学校

印刷物

- ・2015年4月22日『総合図書館 清教リブラリア事業報告2014』200部
- ・2015年11月1日リブラリア紹介リーフレット（デザイン：高校48期 さん・ さん）1000部
- ・2016年3月20日『タラントン2015：連携コース卒業論文』（探究科卒業論文要旨集）200部
- ・2016年3月30日『電子図書館《すくどデジタル》とデジタル化時代の学校図書館：「調べる学習」成果物のデジタルアーカイブ化事業報告』300部



生徒がデザインしたリーフレット

国立国会図書館への納本（3月24日）

- ・『タラントン：連携コース卒業論文』（全7部2009-2015）
- ・『卒業研究の手引き2014』

リブラリアに関係した生徒作品の受賞等

[第19回図書館を使った調べる学習賞コンクール] 主催：公益財団法人 図書館振興財団

優秀賞・活字文化推進会議賞（高校生の部）

さん『在宅緩和ケアが導く“理想の死”とは：変わる終末期医療のあり方』（高3A）

優秀賞・読売新聞社賞（高校生の部）

さん『活版印刷はなぜ愛され続けるのか：日本の美しき活字と現代』（高3A）

優良賞（最終審査対象作品）

さん『カキペディア：柿百科事典』（中3D）

さん『みみ：難聴を治す方法』（中3D）

さん『マーチングにはどのような歴史と教育的意義があるのか：部活動の音楽・身体・精神の視点から考える』（高3A）

さん『日本のインバウンド政策の実態とは：中国人観光客の消費を通じて』（高3A）

さん『新聞購読者はなぜ減り続けるのか：その魅力を見つめ直して』（高3A）

奨励賞（3次審査通過作品）

さん『社会的養護・すべての子どもの未来のために：いのち輝いて笑顔の花咲かせよう』（中3B）

佳作

さん『和食：大切なことを伝え続けるために』（中3D）

さん『太平洋戦争：あの悲劇が生んだ被害とは』（中3D）

さん『性同一性障害：性のあり方』（中3D）

（Iトピックも参照ください）

VI 課題

① 貸出冊数はなぜ減少したのか

2015年度の総貸出数が37102冊となり、昨年に比べて約9200冊減少した原因が、生徒減によらないことは「IV利用」の冒頭で述べた通りです。

では、どの学年で貸出が減少したのでしょうか。それを示したのが右グラフです。中1・中2・高2学年での貸出数の減少が顕著です。特に中1で年間9冊、中2で年間8冊の減少がみられました。

これは総合学習のカリキュラム変更が主な原因と思われました。2015年度より中1においては「400字ファンタジーの創作」のカリキュラムが新たに導入されたため、図書館を使った演習が減りました。また、中2においては探究学習の「ブックレット」が日本語入力ソフトで作成されるに伴い、予定がずれ込みました。例年であれば3学期にスタートしていた卒業研究が次年度に持ち越され、本の貸出が減少したと予想されます。つまり、授業の内容が貸出冊数に強い影響を及ぼしているのです。

ちなみに高2の減少については考えられる要因は見つけられませんでした。

② 高校生の利用率の低さ

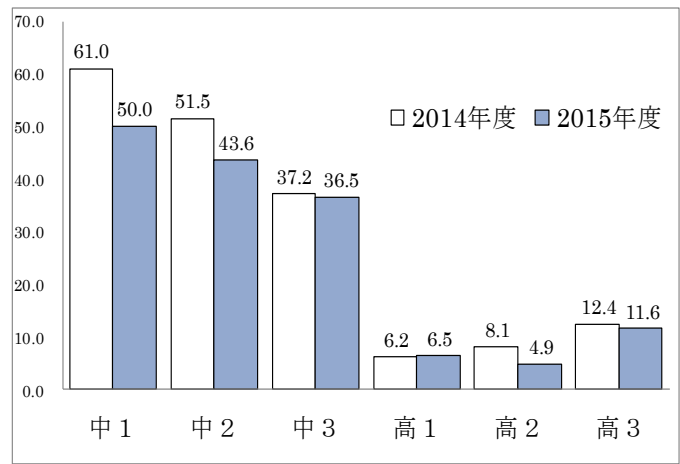
高校生の利用率の低さは今年度も改善されませんでした。中学生の貸出冊数がひとりあたり年平均42.9冊に対して、高校生は約7.7冊で6倍近い開きがあります。高校生の低利用率はこの10年一貫して見られます。

理由の第一は図書館の位置にあります。高校生の生活動線上に図書館がないため6年コースの生徒も高校入学後縁遠くなります。特に教室の遠い高2年生にとって来館は難しいようです。反対に図書館に近くなった高3で利用率がわずかに上がるのはやはり図書館と教室の近さが影響しているように思われます。第二の理由として授業における利用時間の少なさも高校生の貸出低調の理由と考えられます。

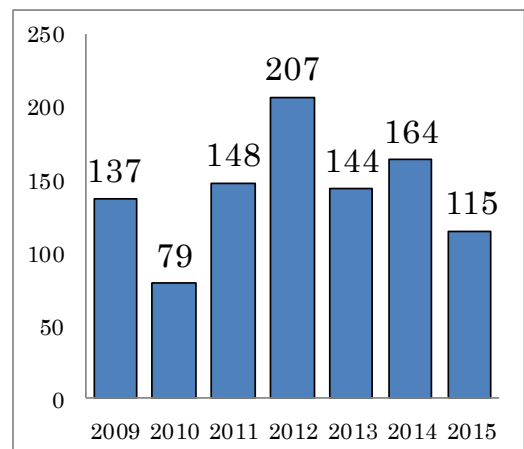
③ 紛失図書問題：紛失数・紛失率は低下

紛失図書の総数が本年度は112冊（昨年度は144冊）と減少しました（図書紛失率は0.22%）。「1ヶ月以上の延滞の生徒には新たな資料の貸出はしない」というペナルティを設けた効果が出たのかもしれませんが、依然紛失数は100冊を超える状態が続いています。

新年度になって所在が確認される図書も少なくないのですが、紛失した理由としては貸出手続きをしないまま持ち出したもの、が多数を占めると予想されます。今年度は特に漫画が目立ちました。



生徒ひとりあたりの年間貸出冊数の前年度比較



紛失数は低下傾向

③ スペースの限界

本年度リブラリアの総蔵書数は 53574 冊となりました。蔵書は全体として例年 3～4 千冊のペースで増加するため、2015 年度には、階段下と窓辺に合計 4 つの書架を増設しました。

しかし、3～4 千冊のペースで蔵書は毎年増加するためスペースの限界は時間の問題です。そこで、2016 年度にはリブラリア 1 階に、アイランド型の低書架と窓際の低書架を導入する予定です。これらが実現すると、考えられる空きスペースはスタディーホールの手すり（曲線部分）近辺のみとなり、いよいよ限界がみえてきました。そこで、今後リブラリア近辺に移動式の書架（書架床面積当たり約 2.5 倍の収納効率）を導入する空間を探し、書庫の拡張を検討したいと思います。



増設された書架

L I B R A R I A

SEIKYO

総合図書館 清教学園ブラリア
2015 年度事業報告

発行日:2016 年 4 月 27 日

著者:清教学園中・高等学校 図書館教育

印刷・製本:清教キャンパス

連絡先:

〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

TEL 0721-62-6828

本報告の内容は、すべて学校法人清教学園に属します。
無断での複写・複製・転載を禁じます。